

ノヤマ通信

vol.35 (2025.水無月)



森のようちえんヒュッテ

【5月の活動記録：1日山の基地、8日宇和運動公園、12日中山池自然公園、15日どんぐり王国、22日山の基地、26日桂川溪谷・ほわいとファーム】

●活動を見つめるコラム

「バラバラになってもいいんです」

森のようちえんの活動は、みんなで一斉に何かをやるプログラムがあるわけではなく、お散歩をしながら子どもが興味を持ったものにに応じて遊びを展開していく、というのが基本です。一般的な保育園などで園外をお散歩をする際は、安全面を考慮し、整列して2人一組で手をつないで歩いたりする光景をよく目にしますよね。でも、ヒュッテでは整列はせず、バラバラに歩きます。（もちろん、安全面が確保できる場所に限った話ですが）

自分自身が受けてきた教育の影響からか、こういう風にばらけて歩くことに、森のようちえん活動を始めた初期の頃は抵抗がありました。ただ、参加者の発達段階にもバラツキがあるし、興味を持つ対象も様々なので、個々のペースに合わせて行動してもらおうと、どうしてもばらけてしまうんです。固まって歩くことを優先させると、それができなくなる。要は何を重視するかなんですよね。（ということで、ヒュッテに参加しても、集団行動はあまり身につくまいのであしからず？😭）

こういう運営の仕方ができるのは、通い続けていて要領がわかっているお母さんたちが色々フォローしたりしてくれるおかげでもあります🙏。これからも安全管理に気をつけながら思い思いのお散歩を楽しんでいきたいと思います。（ゆ）



▲5/31山の基地の開放日（野菜の名札づくり）



山の基地

【5月の活動記録：14日、20日、23日/日常管理、31日/開放日（17日は雨天中止）】

●5/31の開放日は気持ちの良い青空。畑づくり、川あそび、トンボとり…それぞれやりたいことをして、のびのび過ごしました。大人も子どもも、“何か”から解放される時間が大事ですね。

●冬につくった鳥の巣箱にシジュウカラが出入りする姿が目撃されました😊。森のようちえんの活動時、小屋でお弁当を食べているときに「出入りしてますね」と参加者のお母さんが発見してくれました。時々、巣箱の近くの枝にとまって鳴いている姿が見られます。そっと見守ってください。



▲シジュウカラ

ツツピー♪
ツツピー♪
ジュクジュク…



✿✿ その他の活動

●上松葉奥池ビオトープの管理 (5/14)

希少な植物を保護するため、部分的に草刈りを行いました。ビオトープの管理者である市は、現在、年に1回の草刈りを行っているのですが、それだけでは希少植物の生育環境である草地を維持できないので、私たちが補助的に管理をしています。今年も秋ごろに1回はビオトープの自然観察会を開きたいと思っています。



◀草刈りした園路

●第1回「みみずの会」を開催 (5/14)

西予市で活動している「森林内荒廃地復旧・体験プロジェクト」「自然道（おめぐり庵）」と共に、みみずの会というイベントを始めました。きっかけは、宇和と野村の境界部の山に大規模な風力発電施設が計画されている、という話を聞いたこと。もっと山に関心を持つ人が増えてくれたら、という思いから勉強会の開催に至りました▲。

初回は、宇和町田之筋地区の民俗・信仰について学びました。第2回は6/18で「命を育む森」、第3回は6/25で「風力発電を考える」というテーマで開催予定です。

●愛大・ESDラボへ (5/25)

先日、愛媛大学で開催された教育に関する研修会に参加してきました。ゲストは、前・加賀市教育長の島谷千春さん。石川県加賀市の公立小中学校で実践されている「単元内自由進度学習」について、お話をうかがいました✎。

この学習方法の特徴は、子どもたち自身が「何を・どうやって・どこで・誰と」学ぶかを選べるところです。たとえば、教室を出て図書室で調べものをしたり、ろうかで友達と話し合ったり、一人で机に向かって集中したりと、同じ授業時間でもそれぞれのスタイルで学んでいる子どもたちの様子が紹介されました。

ちなみに、これは年間を通じてずっと行っているわけではなく、授業の一部に取り入れているとのこと。それでも、市内すべての学校で実践されているそうです。「公立の学校でも、こんな自由な学びの形ができるんだ！」と、わくわくしました😊。

これからの学校教育では、子どもが自分に合った学び方を見つけたり、自ら学び続ける力を育てることが大切だと思います。そんな学びのスタイルが、私たちのまちでも広がっていったらいいなあと感じました。(ゆ)

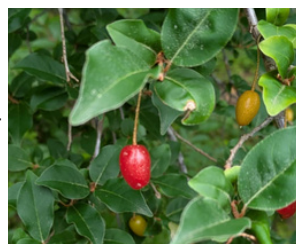


🌱 いきもの情報

活動の中で出会った生きものたちを紹介します。

ナツグミ (グミの木)

初夏に実をつけるグミの木。ちょっと酸っぱいけど実は食べられます。秋に実をつけるアキグミもあります (5/26ほわいとファーム)



📖 よもやま話

●ヒュッテに通ってくれているYさんにお借りして、ずっと読みたかった「チ。-地球の運動について-」を読みました。TVアニメとしても放映されていたし、周りの人もすごくお勧めしていたのですが、話の中で亡くなる人も多いということで、なかなか読み始められず....。でも、読み始めたらあっという間でした！(ちなみに、夫も長女もあっという間に読んでいました)

歴史の授業でも習った、天動説が主流の時代に地動説を主張する人たちのお話なのですが、「不正解は無意味を意味しません。」など、心に残るセリフが、魅力的な登場人物とともに、いろんな場面にちりばめられていました。その中でもとりわけ心に残っているのは、歴史の上では無名の人たちが違和感や信念や衝動に蓋をせず、次の世代を信じて託すことに希望を感じて生きてきたからこそ、今があるということ。

歴史って、偉大な英雄の偉業だけでなく、自分のような普通の人が精一杯生きることでも作られるんだよねあと感じて、勝手に励まされました(笑) (ち)



<発行> 一般社団法人

ノヤマカンパニー



愛媛県西予市宇和町稲生237-1

✉ noyama.company@gmail.com